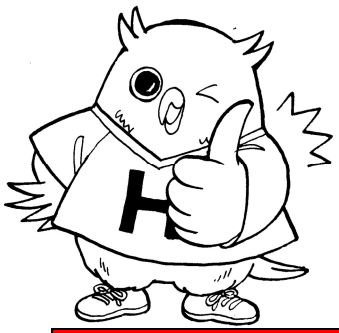
L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼（仏語）】

2013 年 9 月号



悲願の東京五輪 2020 年開催がついに決定しました!! ハンドボールもソウル五輪以来の出場が決定！岩手からもその舞台に立つ選手が出るはず！

チェリーカップで東根が燃えた！がんばろう東北勢！

毎年恒例、お盆の時期の開催となるチェリーカップ第 21 回東日本小学生ハンドボール大会が 8 月 17 日～18 日に行われ、岩手県からは我が花巻クラブジュニアと矢巾フェニックスの 2 チームが出場しました。気温が 34 度という猛暑の中、東北・関東から集結した小学生ハンドボーラーがさらに熱い戦いを繰り広げました。

＜男子＞ A ブロックの初戦では、前回大会優勝の新治クラブ（茨城）に矢巾フェニックスが立ち向かいました。前半 7 点リードされ後半で追い上げを図りますが、得点差を詰めることができず 22－10 で敗れました。花巻クラブジュニアは、こちらも強豪富岡イーグルス（群馬）との初戦を迎えますが、OF のミスからの逆速攻で大量得点を許し、35－6 で敗退しました。試合後、富岡イーグルスの監督さんにお話を伺いましたが、私たちと同じく週に 1～2 日しか練習していないとのこと。ただし低学年からハンドボールを始めたメンバーが多く、今回の布陣は 5 年生が中心とのことでした。同じ小学生なのになぜこんなに差が出るのか・・・と正直肩を落としつつも、今後も一生懸命工夫しながら指導していかなければならないとの思いを新たにしたスタッフ一同でした。なお、優勝は武蔵村山市ハンド（東京）、準優勝は東久留米ハンド（東京）、第 3 位は新治ハンド（茨城）でした。関東勢強しですね。山形県で開催している大会だけに、もっと東北勢が上位入賞できるように頑張りたいですね！

＜女子＞ 千葉県の佐原クラブと初戦を迎えた花巻クラブジュニアは、前半 2 点ビハインドで折り返し、後半での逆転を目指しますが、シュートが枠を捉えず無念の失速。13－8 で初戦敗退という結果に終わってしまいました。B ブロックの矢巾フェニックスは、東京の府中 HC に 11－8 で勝利し初戦を飾ります。関東勢を撃破して勢いに乗るかと思われましたが、続く第 2 試合では地元の東根ハンドスポ少（山形）に 27－6 で敗れ、惜しくも決勝トーナメントへの進出はなりませんでした。

なお、最終順位ですが、武蔵村山市ハンド（東京）が男女アベック優勝を果たしました。準優勝は土浦ハンド（茨城）、第 3 位は麻生フェニックス（茨城）となり、東京勢を茨城県が追うという順位で大会が閉幕しました。

JOC 岩手選抜は男女そろって東北優勝！

9 月 7 日～8 日、秋田県湯沢市で開催された JOC 東北予選会において、岩手県代表は男女揃って優勝し、本大会への出場権を得ました。花巻中の阿部和真 GK が出場しています。本大会でも上位入賞を目指して頑張ってきてください！

岩手県人が男子ユース世界選手権で躍動☆世界の実力を肌で体感！

8月9日～23日まで、ハンガリーのブダオロスにて開催された第5回男子ユース世界選手権において、岩手県出身選手たちが躍動しました。本県から出場したのは齊藤凌選手（花巻クラブジュニア→花巻北中→不来方高→早稲田大1年、写真右から2人目）、安倍竜之介選手（リトルハンド→松園中→不来方高3年）、そして庄子直志選手（大宮中→不来方高3年）の3名。さらに、春の全国高校選抜大会で不来方高を優勝に導いた内記徹監督が、コーチングスタッフとしてチームを牽引しました。

初の世界選手権で初戦の相手はなんと前回大会優勝の強豪デンマーク。前半は互角の戦いを展開しますが、後半ミスからの速攻で連取され、27－39で前回王者の前に屈しました。その後エジプト戦、セルビア戦ともに相手の圧倒的な体格差に押され敗戦が続きましたが、負けられない戦いとなったチリ戦では、齊藤選手がサイドシュートを決め、試合を優位に進めます。安倍選手も後半加点し、13点差で勝利。世界での嬉しい1勝をつかみ取りました！
続くベラルーシとの試合では、大型選手にシュートをことごとく決められ、相手のパワフルな攻防を攻略できず、決勝トーナメント出場を逃しました。この結果、日本は17～20位決定戦に回りました。チュニジア戦に勝利し、17～18 位決定戦となるプレジデントカップ決勝では、アルゼンチンとの試合を迎えました。前半途中から主導権を握りますが、その後一進一退の攻防が続き、なんとかリードを保ったまま終盤に突入。安倍選手の渾身のロングシュートなどで突き放し、42－36 で見事プレジデントカップ優勝の栄冠を勝ち取りました！初の世界チャレンジとなった今大会では、残念ながら決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、最後はカップを手にし、笑顔で大会を締めくくれたこと、世界レベルを体験できたことなど、非常に実りの多い大会だったことと思います。岩手県出身者が 4 名も参加したことも非常に誇らしいことです。この貴重な経験を是非今後も活かしていってほしいと思います。本当にお疲れ様でした！　（試合の模様は（公財）日本ハンドボール協会 HP 掲載の戦評を参考に、写真は岩手ハンドボール応援ページ様より転載しました。ご了承ください）

富士大学にて NTS 東北ブロックトレーニング開催

去る8月10日、花巻市の富士大学において、NTS の東北ブロックトレーニングが行われ、東北各地から将来有望な選手が集いました。今回小学生の指導に当たったのは日本ハンドボール連盟で小学生委員長を務める山本繁校長先生と市立若葉小学校の阿部光太郎先生（花巻クラブ所属）。基本的な動作の練習から攻防まで織り交ぜ、最後は小学生向けの特別ルールでゲームを試みました。これは現在検討中とのことですが、小学生には積極的な DF を意識させるため 9M ライン内に入ることを制限した DF とし、得点後のリスタートは GK からの直接スローで再開、さらに試合時間を短縮し、前後半ではなく3ピリオド制にするとのこと。試験的にやってみましたが、よりスピーディかつアグレッシブなハンドボールが展開できるのではないかと期待しています。今後の動きにも注目ですね。

新人戦地区大会で新チームが始動！県優勝を目指せ！

9月もあっという間に過ぎ、3連休の中日となった9月22日、花巻中学校体育館にて、中学校新人大会花巻地区大会が行われました。女子の試合は高めの DF を敷いた花巻中がインターセプトからの速攻を繰り出し、序盤から主導権を握ります。対する花巻北中は、エースの高橋陽実選手が積極的に攻撃を試みますが点差を詰めるに至らず、31－12 の大差で花巻中が勝利を収めました。一方男子は前半から接戦となります。花巻北中は主将の小田島丞選手を中心に得点を重ねる一方、花巻中はリスタートから多田太朗選手、千葉遥貴選手がすかさず点を取り返し、一進一退の攻防を展開します。前半は1点差でしたが花巻北中が徐々に点差を広げ、32－24 で勝利をもぎとりました。

次は、11月16日～17日にかけて県大会が開催される予定です。約1ヵ月半、大会に向けてしっかりチームを強化し、花巻勢が揃って春の全国中学校大会に出場できるよう是非頑張ってほしいものです！

L'aile d'Howl（ライル・ドウル）
2013年9月号
2013年9月25日　発行
発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to 岩手ハンドボール応援ページ様